

介護

2011.6

VOL.24

- ① 平成23年度 青山里会入社式 18名 (4/1)
新人職員研修会の様子 (4/1~28)
- ② 山菜の集いを開催。合い言葉は **支えあおう日本** です (4/26)
- ③ **「福祉カフェでめでめ」**
オープンしました (4/15)
元大阪市立大学教授
- ④ **白澤政和**(青山里会理事) **ご退官記念講演**
・青山里会37創設記念式典・祝賀会 (5/31)
- ⑤ **コミュニケーション広場**
・平成23年度 四日市福祉専門学校入学式 (4/9)
・東日本大震災の支援 (4/3~6)

発行 社会福祉法人 **青山里会**

四日市市山田町5500-1
☎059-328-2177
<http://www.normari.jp>

福祉カフェでめでめ



青山里会は、年齢や障害の有る、無しに関わりなく、すべての人が平等に、豊かに、安心して暮らすのがあたりまえで、普通のことであるという思想、ノーマリゼーションを理念として、福祉事業の充実に努めています。

春

New figure staff

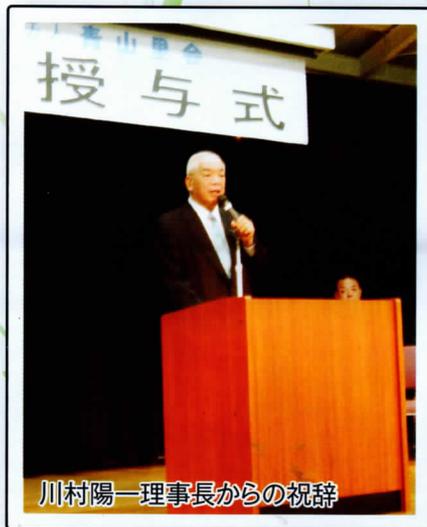
平成23年度 新人職員の紹介



社会福祉法人 青山里会 辞令授与式

平成23年度 辞令授与式 社会福祉法人 青山里会 平成23年4月1日

平成23年4月1日、新人職員18名に辞令授与が行われました。これからの青山里会を支えていくことになるフレッシュな力が新たに加わり、これからも一層ご利用者、ご家族、地域住民の皆様方のお役にたてるよう、全力で取り組んで参ります。



誓いの言葉
社会福祉士
岩間 由衣



職種	
社会福祉士……	1名
事務員……	3名
ケアワーカー……	14名

岩間 由衣

社会福祉士(ソーシャルワーカー)



悩みや不安を抱えているときに、人に相談するだけで気持ちが楽になるという経験は誰にでもあると思います。私は日常生活の中でこの経験を繰り返していくうちに、悩みを持っている人の話を聞いて悩みや不安を少しでも軽減したいという想いが強くなり、ソーシャルワーカーを目指しました。

そして今私は、ソーシャルワーカーとして不安や悩みを抱えている人々が安心して暮らせるように支援していくことを目指しています。このことを実現させるためには、ソーシャルワーカーに必要な能力を向上させていくこと、また利用者や家族、地域住民と信頼関係を築き、何かあったときに気軽に相談できるような存在になることが重要だと思います。そのため、青山里会で働くソーシャルワーカーをはじめ多くの職員の方々から知識や技術を学び、利用者や家族、地域住民に施設のことを理解していただくための活動を通して、信頼関係を築いていきたいと思っています。そして、常に青山里会と自分自身が成長し続けていくために全力で取り組んでいきたいと思っています。

新人職員の方に 目標を語っていただきました

村野 花実

ケアワーカー



私が青山里会に入社した理由は、様々な福祉事業を積極的に行っているという事に魅力を感じたからです。新人研修を通して、ここは他の福祉事業では経験できない事をさせてくれる所なんだと思いました。これからも他ではできない貴重な経験をさせてもらえると思うので、この青山里会に貢献できるような働きをしたいと思っています。

私の抱負はこの小山田特養にとって必要なケアワーカーになる事です。その為には日々の業務をこなし、職員の方々には勿論、入居者の皆さんから信用されるような働きができるように努力したいです。

まず第一に入居者の皆さんお一人お一人を知る事から始めようと思っています。その方々に応じたケアを先輩職員のご指導の下行っていきたいと思っています。今の私はまだまだ先輩ケアワーカーさんや入居者の皆さんに迷惑をかけてしまうばかりですが、とても優しく熱心に指導していただいているのでその期待に応えられるような働きができるように日々努力していきたいです。入居者の皆さんにとっても良い介護ができるようにこれからも色々な事を学んでいきたいです。

大橋 美咲

事務員



四月にこの青山里会に事務員として入社し、1ヶ月が経ちました。何もかもが初めてで不安ばかりでした。新人研修では、あいさつの大切さや、コミュニケーションの大切さ、基本的なマナーなど、学校では深く学べないことをたくさん学ぶことができました。また、施設内では職員の方や利用者の方があいさつを交わしていたり、楽しく会話をしていたり、とても明るい雰囲気、私も早くこの雰囲気の中に溶け込めるようになりたいと思いました。そのためにも、常に笑顔を忘れず自分からあいさつをし、気遣いのできる優しい人になれるよう心がけていきたいです。

事務の仕事では、今はまだ知らないことばかりですが、これから何を聞かれても答えられるくらい、知識を深められるようやる気を持って、一生懸命仕事をしていきたいです。そして、「人財」とよばれるような、周りから信頼され、頼られる存在となれるよう、頑張っていきたいです。

近藤 凧紗

ケアワーカー



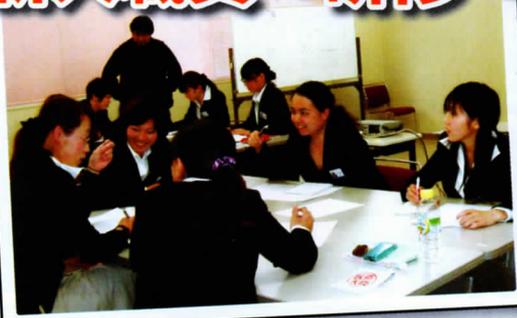
私が介護職に就きたいと思ったきっかけは、中学校の時の吹奏学部でのボランティアコンサートでした。施設に赴き、利用者の方とふれあいながら演奏をさせていただきました。演奏が終わると涙を流して、ぎゅっと手を握り、「ありがとう」という感謝の言葉をかけてくれる利用者の方も少なくはありませんでした。その私の手を強く握る手がすごく愛おしく思え、こんな方々を大切にしたいと思ったのが介護職に就きたいと思ったきっかけです。

私の抱負は、利用者の方のささいな変化に気付くことができるケアワーカーになるということです。まずは、気づくということが大切なことだと思うからです。自分のささいな変化に気付いてもらえる、自分のことをみてくれているんだと安心したり、きっと嬉しいと思います。まず、小さなことから気が付いてどんなささいな変化も大切にしていけたらいいなあと思います。

まだまだ知識も技術も全く不足しているとは思いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

新人職員～研修～

4月1日の入社式から28日
まで、1ヶ月間の新人研修。



グループ討議し、
司会・記録・発表者と役割を決める。



食(栄養)についての講義



新人職員18名の毎朝の日課は、
地域と施設を結ぶ地域交流
ホームの清掃から始まります。

平成23年度 山菜の集いを開催しました

まえあおう日本!!!

本来は恒例の行事として、新人紹介と野山で採取した自然の恵みを全て職員の手作りで、心ゆくまで味わう「食材は自らの手でつかむ」という自律の心を養うことを趣旨とした山菜パーティーでしたが、今年に限り「自然の恵みに感謝した災害復興のつながりと、士気を高める集い」として開催させて頂きました。

当日は職員・来賓者を合わせ500名余りの方々が集うことができ、皆が今自分たちにできることは何かを考え、迷い、未だ答えが見付からない中でも、皆が共に団結し士気を高めていくことが復興支援の第一歩になるのではと考え、これからの日本を応援していきたいと思えます。



今回、青山里会では、東北地方の物産コーナーを設け、また東北地方出身のスタッフらで東北名物「ひつつみ汁」を作ってもらうなど、みんなで東北の自然の恵みを分かち合いながら頂くことができました。食材には、岩手三陸産の昆布、福島県産の干しきくらげや、乾しいたけ、南部せんべいを入れ、物産として販売させてもらうことになりました。

東北地方特産の地酒も用意しました。



東北美人のように……!! ~三重美人たち~



山菜の集いの様子



理事長 川村 陽一

東日本大震災で被災された方々に心からお見舞い申し上げます。私たちは今までに経験したことのない大災害に対し、復興支援の第一歩として何ができるのか、我々はどうしていくべきなのか、そうした思いをこの集いで語りあい、被災地の人たちの生活に思いを巡らせ、被災地の皆さんとこれからの日本を応援していきたいと思ひます。

合い言葉は「支えあろう日本」です。



新人職員も「勇気・元気・がんばろう・希望」をテーマに、素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。



嵐の曲「Happiness(ハピネス)」を18人の新人たちが1人1人の声を集め力強い歌声にして、会場に集まった皆に「自然の恵みである食材」と「復興支援」への思いを伝えるパフォーマンスを見せてくれました。



4/15 福祉カフェでめでめオープン



昼食に利用する人でにぎわうカフェの店内



常務理事
西元 幸雄

私たちは地域で孤立しがちな高齢者や、障がいなどを抱えておられる方が自宅で生活を続けていくには、介護保険とともに配食や見守りなどの生活支援サービスを組み合わせていくことが必要と考えています。

福祉カフェでめでめも、そうした数あるサービスメニューのひとつとして立ち上げました。その他にも地域交流ホーム内には音楽活動、健康促進事業といった「アクティビティプログラム」をご用意させて頂いておりますので、買い物に行けない方や調理する事が難しい方々もお越し頂けたら、1日中楽しく過ごして頂けると思います。

多くの方にご利用頂けることを楽しみにお待ちしております。

福祉カフェ「でめでめ」

「カフェでめでめ」は健康者も身体に障害を持つ人も、認知症の方も誰もが気軽に利用できる福祉カフェとして小山田温泉地域交流ホーム1階に4月15日、オープンしました。「カフェでめでめ」のメニューは、お楽しみ弁当、カレーライス、たまご丼、サンドウィッチ、ホットケーキなど、低価格で栄養のあるお食事を提供できるよう設定しています。

メニューも季節に応じて増やして行く予定です。お待ちしております。



誰もが自由に利用できる福祉カフェであるため、同一敷地内にあるケアハウスの住民の方たちも、みんなでよく行かれています。



アクティビティボランティア大募集



特別な資格がなくても「こんなことをやりたい!!」という方なら、どなたでも大歓迎です。



お問い合わせ先 ソーシャルワーカー 奥山
☎059-328-2618

小山田温泉地域交流ホーム アクティビティプログラム

日	月	火	水	木	金
1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30
31					

※詳細は施設内パンフレットをご覧ください。

祝

白澤政和教授ご退官記念講演 青山里会37創設記念式典

5/31
火
午後3時
びあホール



理事長 川村陽一 開会にあたり挨拶

青山里会が創設されて37回目を迎えることになりました。この日、永年勤続表彰式並びに、感謝状授与式が行われ、今年は46名の方が表彰を受けられました。



白澤教授(青山里会理事)「ご退官記念講演」



三十年永年勤続表彰

講演内容「私の研究の回顧と展望」

この度、青山里会の理事でもある白澤政和教授(元大阪市立大学)の退官記念講演会を開催させて頂くことができました。

私たち「青山里会」と白澤先生との出会いは、ニッセイ財団の補助金を受け「安心して老いる街づくり事業」の研究を行い、「見守り安心電話システム」の開発を行ったことでした。その後平成7年に理事にご就任頂き、青山里会に大きな力添えをいただきました。また、学会活動でも海外での国際学会での発表の機会や、海外視察にご一緒させていただいたり、研究活動に疎い介護・福祉現場の私たちに対して粘り強くご指導していただくことができました。

日本老年社会学会「四日市大会・名古屋大会」(大会長 川村陽一)の際にも先生からご指導、ご助言を賜り、無事大会を成功させることができました。本当にこの20年余り、白澤先生とのお付き合いを想いかえしてみると、研究者と現場という枠を超えて共に「地域包括ケアシステム」の推進に取り組ませていただいたのではないかと思います。



岩田先生(左)、川村理事長(中央)、白澤先生(右)

感謝状授与者(1名)
10年永年勤続表彰者(33名)
20年永年勤続表彰者(8名)
30年永年勤続表彰者(4名)



祝賀会



東日本大震災による大災害に対し、 青山里会から4名のスタッフと物資を届けに 4/3~6まで行きました



今回の支援は、東北の福島・仙台・岩手・青森の4県を縦断し災害ボランティアセンター、地域包括支援センターを回り、被災地の現状や現在の生の声やこれからの支援方法について、各県の被災地を懸命に日常生活を支援を要するお年寄り・障害者らの支援ん活動に当たられている地域包括支援センターの方々と意見交換を行い、協議してくることにになりました。



被災された街やそこに住まうかたがたの様子は、報道を通して見聞きするよりも大変な状況であり、改めて今我々にできることは何かあるのかを考えていく必要があると実感させられました。

平成23年度
四日市福祉専門学校

入学式



校長
田川 紀代



この度(4/9)平成23年度四日市福祉専門学校の入学式が行われました。

新入生28名がこれから2年間、しっかりと介護の知識と技術を、そして社会人に向けての心構えを学んでいくことになります。

高齢化社会がますます進む中、介護職(介護福祉士)の養成及び育成は社会的にみても急がれる課題であります。そして多くの方々、立派な介護福祉士の支えを必要としているのです。

私たち、学校経営者並びに関係者は、1人でも多くの介護福祉士を社会に送り出すといった社会的な使命を懸命に果たしていきたいと思っております。